

令和2年度福島県計画に関する事後評価

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 2 (医療分)】 医療提供体制を確保・維持するための整備支援事業	【総事業費】 100,879 千円 【R3 事業費】 69,773 千円
事業の対象となる区域	全県	
事業の実施主体	診療所	
事業の期間	令和2年4月1日～令和8年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>県内において医師が都市部に集中するなど、医師が偏在している中で、地域で不足している医療機能及び将来不足が予想される医療機能を充実させる必要がある。</p> <p>特に診療所の医師の高齢化が進行しており、県外の承継希望医と後継者不在の開業医のマッチング等を図り、地域医療及び在宅医療提供体制の確保が必要である。</p> <p>アウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期救急医療機関の増加 1 施設 ・ 県内の認定産業医数の増加 1 名 ・ 在宅医療実施医療機関の増加 2 施設 	
事業の内容（当初計画）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で不足している医療確保のため、診療所の改修又は承継に係る費用を支援する。 	
アウトプット指標（当初の目標値）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設設備整備事業者数 4 施設 	
アウトプット指標（達成値）	<p>〈令和2年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設設備整備事業者数 1 施設 <p>〈令和3年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設設備整備事業者数 2 施設 	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</p> <p>〈令和2年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期救急医療機関の増加 0 施設 ・ 県内の認定産業医数の増加 0 名 ・ 在宅医療実施医療機関の増加 1 施設 <p>観察できなかった →（代替指標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅療養支援診療所数の増 R元：165 箇所→R2：168 箇所 ・ 在宅療養支援病院数の増 R元： 11 箇所→R2： 12 箇所 ・ 医業承継成立件数 R元： 0 箇所→R2： 1 箇所 	

	<p>〈令和3年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期救急医療機関の増加 (調査中) ・県内の認定産業医数の増加 (調査中) ・在宅医療実施医療機関の増加 (調査中) <p>観察できなかった→いずれも現在調査中のため (代替指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医業承継成立件数 R元:0箇所→R2:1箇所→R3:6箇所
	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>〈令和2、3年度〉</p> <p>医業承継による診療所開設の支援につながり、地域で不足している医療確保につながった。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>〈令和2、3年度〉</p> <p>地域で不足している診療所の減少防止につながり、在宅医療を実施する医療機関を確保することができた。</p>
その他	

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【No. 13 (医療分)】 在宅医療拠点整備事業 (在宅医療・総合内科 実践学寄附講座)	【総事業費】 165,742 千円 【R3 事業費】 116,812 千円
事業の対象となる区域	奥会津地域等	
事業の実施主体	公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター等	
事業の期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>県内で高齢化が一番進行している奥会津地域 (県内の高齢化率トップ3の町村を含む地域) は、医療機関や医師等の医療資源が乏しい地域であるため、今後増加が見込まれる在宅医療のニーズに対して、適切なサービスが提供できるよう体制整備を強化する必要がある。</p> <p>アウトカム指標： ・奥会津4町村の訪問診療の実施件数 H30：67件 → R4：288件</p>	
事業の内容 (当初計画)	<p>地域の基幹病院に寄附講座を開設して県外から医師を確保し、へき地の医療機関に医師派遣を行い、医療資源の乏しい地域における在宅医療の提供を行う。</p> <p>1年目は訪問診療、巡回診療、健康教室等を行うとともに、在宅医療の現状や、在宅医療に必要な体制整備、医師の多様な働き方などに関する調査研究を行う。</p> <p>2年目以降は、訪問診療の件数を増加させるとともに、往診や看取りに取組を拡大し、24時間365日の在宅医療提供体制の構築を進める。</p> <p>また、医療資源が不足している県内の他地域においても、在宅医療の拠点となる医療機関を支援し、本県の在宅医療の充実を図る。</p>	
アウトプット指標 (当初の目標値)	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療を行う医師 (総合内科等) を育成した人数 2人以上 調査研究報告書の作成 (在宅医療の現状分析、医師の多様な働き方及び医師の育成・確保に向けた研究等) 	
アウトプット指標 (達成値)	<p>〈令和2年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療を行う医師 (総合内科等) を育成した人数 2人 調査研究報告書の作成 (在宅医療の現状分析、医師の多様な働き方及び医師の育成・確保に向けた研究等) <p>〈令和3年度〉</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療を行う医師（総合内科等）を育成した人数 1人 ・調査研究報告書の作成（在宅医療の現状分析、医師の多様な働き方及び医師の育成・確保に向けた研究等）
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</p> <p>〈令和2年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥会津4町村の訪問診療の実施件数 H30：67件→R2：58件（事業の中での訪問診療実施件数） 観察できなかった →R4年度までの3か年の計画で事業を進めている。 <p>〈令和3年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥会津4町村の訪問診療の実施件数 H30：67件→R2：58件→R3：922件 観察できた→訪問診療の実施件数が大幅に増加した。 <p>（1）事業の有効性 〈令和2、3年度〉 地域の基幹病院に県外から医師を確保し、へき地の医療機関に医師派遣を行い、医療資源の乏しい地域における在宅医療の提供を行うことができる。</p> <p>（2）事業の効率性 〈令和2、3年度〉 事業実施に係る3か年のスケジュール計画を決め、効率的に事業を進めている。</p>
その他	

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 15 (医療分)】 ナースセンター事業	【総事業費】 44,044 千円 【R3 事業費】 26,211 千円
事業の対象となる区域	全県域	
事業の実施主体	福島県 (福島県看護協会)	
事業の期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	看護職が不足する中で、看護職の資格を保有している潜在看護職の復職を促進することにより、看護職を確保する必要がある。	
	アウトカム指標： ・潜在看護職員及び離職した看護職員の復職を支援することで、看護職員の確保を図る。 看護職員数 (人口10万対) H30 : 1,362.1人 → R2 : H30の人数以上	
事業の内容 (当初計画)	看護職の資格を持った未就業者の就業促進のための職業紹介、巡回相談会によるマッチング促進及び離職した看護職の届出制度を活用した就業支援	
アウトプット指標 (当初の目標値)	・ナースセンター利用者 2,540名、就業者 160名 ・巡回相談会 月7回、 看護職の働き方フォーラムの開催 1回	
アウトプット指標 (達成値)	〈令和2年度〉 ・ナースセンター利用者 3,009名、就業者 128名 ・巡回相談会 月0～9回、 看護職の働き方フォーラムの開催1回 〈令和3年度〉 ・ナースセンター利用者 4,388名、就業者 264名 ・巡回相談会 月5～10回、 看護職の働き方フォーラムの開催1回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： 〈令和2年度〉 ・潜在看護職員及び離職した看護職員の復職を支援することで、看護職員の確保を図る。 ・看護職員数 (人口10万対) H30 : 1,362.1人 → R2 : 未公表 (※) ※ R3年9月頃公表の衛生行政報告例で把握予定	

	<p>〈令和3年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在看護職員及び離職した看護職員の復職を支援することで、看護職員の確保を図る。 ・看護職員数（人口10万対）（衛生行政報告例、隔年実施） H28:1233.2人→H30:1363.1人→R2:1,398.3人 →R3:未公表（R4の数値はR6.1頃公表予定） 観察できなかった→R3数値未公表のため （代替指標） ・福島県内の看護職員数 R2:14,793人→R3:14,866人 <p>（1）事業の有効性</p> <p>〈令和2年度〉</p> <p>ハローワーク巡回相談会等、ハローワークとナースセンターの連携強化により、看護職の就業支援を行うことができた。また、看護職を対象とした「看護職の働き方フォーラム」の開催等により、働き続けるために重要なことを考える機会となった。</p> <p>〈令和3年度〉</p> <p>ナースセンターいわきサテライトの開所等により、ナースセンター利用者が前年度より1,379名増加した。（ナースセンター利用者4,388名中、いわきサテライト利用者578名）</p> <p>（2）事業の効率性</p> <p>〈令和2年度〉</p> <p>県看護協会に委託することにより、就業相談の他、看護職の働き方フォーラム、リフレッシュ研修等の企画・運営等効率的に事業を実施できた。</p> <p>〈令和3年度〉</p> <p>ナースセンターいわきサテライトとハローワークいわきとの連携を強化するための調整を行なったことにより、いわきサテライトの利用及び就業を促進することができた。さらに、ナースセンターが完全無料の職業相談所であることについてのPRを強化していくことが課題。</p>
その他	

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 16 (医療分)】 医業承継支援事業	【総事業費】 29,517 千円 【R3 事業費】 15,714 千円
事業の対象となる区域	全県域	
事業の実施主体	福島県 (県医師会)	
事業の期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>当県の診療所の開設者または法人の代表者の平均年齢が 62.3 歳 (平成 28 年医師・歯科医師・薬剤師調査) となるなど開業医の高齢化が進行していることに加え、後継者不在等の理由による医院廃業によって、県内の診療所数が減少 (H22 : 1,457 施設→H29 : 1,355 施設) しており、医師の減少防止を図る必要がある。</p> <p>アウトカム指標 : 医業承継マッチングの達成 R1 : 0 件→R2 : 1 件</p>	
事業の内容 (当初計画)	<p>県医師会内に医業承継バンクを設置し、県内診療所や市町村への調査、県内外への制度周知、各種相談対応等を行い、廃業を検討する医師と新規開業を検討する医師とのマッチングを支援する。</p>	
アウトプット指標 (当初の目標値)	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチング相談 (個別面談) 数 R1 : 15 件→R2 : 25 件 ・ 医業承継バンク登録者数 R1 : 25 名→R2 : 35 名 	
アウトプット指標 (達成値)	<p>〈令和2年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッチング相談 (個別面談) 数 R1 : 15 件→R2 : 20 件 ・ 医業承継バンク登録者数 R1 : 25 名→R2 : 42 名 <p>〈令和3年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッチング相談 (個別面談) 数 R1 : 15 件→R2 : 20 件→R3 : 50 件 ・ 医業承継バンク登録者数 R1 : 25 名→R2 : 42 名→R3 : 74 名 	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標 :</p> <p>〈令和2年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医業承継マッチングの達成 R1 : 0 件 → R2 : 1 件 観察できた→初の医業承継バンクによるマッチングが成立した。 <p>〈令和3年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医業承継マッチングの達成 R1 : 0 件 → R2 : 1 件→R3 : 6 件 観察できた→マッチング件数が大幅に増加した。 	

	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>〈令和2年度〉</p> <p>令和2年度は初の医業承継バンクによるマッチングが成立し、マスコミ等にも大きく取り上げられ、サイトへのアクセス件数も前年度より約12,000件伸びている。これ以外にマッチングを行ったのは3件あり、そのうち1件は契約に至っている。</p> <p>〈令和3年度〉</p> <p>令和3年度は医業承継バンクの認知度が上がり、アウトプット指標の目標を達成し、6件の医業承継が成立した。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>〈令和2年度、令和3年度〉</p> <p>今年度も新型コロナウイルスの影響により積極的な活動が難しく、問い合わせのあった方などへの対応のみで、こちらから県外等での広報活動や大きなセミナー、各地域での事業説明会などを開催することは出来なかった。</p>
その他	

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 18 (医療分)】 看護職再就業支援研修会	【総事業費】 9,413 千円 【R3 事業費】 4,514 千円
事業の対象となる区域	全地域	
事業の実施主体	福島県 (福島県看護協会、研修協力施設)	
事業の期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>・看護職が不足する中、再就業を希望する潜在看護師等を対象に最新の医療に関する講義・看護技術に関する実習、病院、訪問看護事業所、老人保健施設等でのOJTを行うことで看護職の確保を図る。</p> <p>アウトカム指標： ・看護職員数 (人口10万人対) H30:1,362.1人→R2:H30の人数以上</p>	
事業の内容 (当初計画)	<p>・再就業を希望する潜在看護師等を対象に最新の医療に関する講義、看護技術に関する実習、病院、訪問看護事業所、老人保健施設等でのOJTを行うことで再就業を促進する。</p>	
アウトプット指標 (当初の目標値)	<p>・再就業支援研修会：年4回、2日間、30名受講 ・研修施設 32施設、就業者 30名</p>	
アウトプット指標 (達成値)	<p><令和2年度> ・再就業支援研修会：R2年度 (4回2日間) 28名受講 ・研修施設 R2：33施設、就業者 16名</p> <p><令和3年度> ・再就業支援研修会：R3年度 (4回2日間) 24名受講 ・研修施設 29施設、就業者 5名</p>	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標： <令和2年度> ・看護職員数 (人口10万人対) H30:1,362.1人→R2:1,398.3人</p> <p><令和3年度> ・看護職員数 (人口10万人対) H30:1,362.1人→R2:1,398.3人→R3:未公表 (R4の数値はR6.1頃公表予定)</p> <p>観察できなかった→R3数値未公表のため (代替指標) ・福島県内の看護職員数 R2：14,793人→R3:14,866人</p>	

	<p>(1) 事業の有効性 <令和2、3年度> 概ねアウトプット指標を達成したと考えており、再就業を希望する潜在看護師等を対象に最新の医療に関する講義、採血や注射等看護技術に関する実習、医療機関でのOJTを行うことで再就業に対する不安を軽減し、再就業の促進を図ることができた。</p> <p>(2) 事業の効率性 <令和2、3年度> 福島県看護協会及び研修協力施設と委託契約を締結し、看護協会での基礎的な研修及び協力施設での実務的な研修が効率的にできた。</p>
その他	

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 21 (医療分)】 看護補助者活用推進事業	【総事業費】 737 千円 【R3 事業費】 382 千円
事業の対象となる区域	全地域	
事業の実施主体	福島県 (福島県看護協会)	
事業の期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>看護職員に対する専門性が求められている中、看護職員の業務負担軽減、離職防止及び看護の質の向上のため、看護管理者を対象とした看護補助者に対する効果的なマネジメントが不可欠である。</p> <p>アウトカム指標： ・ 県内常勤看護職員離職率 (病院看護実態調査) H27：8.2%→H28：8.5%→H29：7.5%→H30：6.9%→ R1、R2：前年のポイント以下。 ※ 病院看護実態調査は毎年5月頃に2事業年度前の数値が公表される。</p>	
事業の内容 (当初計画)	病院等の看護管理者に対する、看護補助者の活用方法、看護サービス管理能力向上を目的とした研修2日間×1回	
アウトプット指標 (当初の目標値)	・ 県看護協会研修開催1回 (2日間)、受講者89名程度	
アウトプット指標 (達成値)	<令和2年度> ・ 県看護協会研修開催1回 (2日間)、受講者60名 <令和3年度> ・ 県看護協会研修開催1回 (2日間)、受講者72名	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： <令和2年度> ・ 県内病院の看護職員数 H30：14,884人→R2：14,793人 <令和3年度> ・ 県内病院の看護職員数 H30：14,884人→R2：14,793人→R3：14,866人 観察できた→県内病院の看護職員数がR2：14,793人→R3：14,866人に増加した。	
	(1) 事業の有効性 <令和2年度>	

	<p>看護補助者への教育、協働するための看護職のとの相互理解を図り、看護ケアの質の向上、離職防止につなげる。</p> <p>研修の開催回数は目標達成、受講者数は目標の7割程度の達成率だった。</p> <p>主な原因は、新型コロナウイルスの影響による業務逼迫や開催方法の変更（対面→オンライン）が考えられる。</p> <p>一方で、オンラインを活用することにより、受講者の負担軽減を図ることができる。今後も感染状況を踏まえ、オンラインの活用も検討することにより、看護補助者の更なる活用が期待できる。</p> <p>〈令和3年度〉</p> <p>看護補助者活用制度の理解を深め、看護師の負担軽減及び、専門性の高い業務に専念できる環境を整えることで、看護師の離職防止、定着を促進した。</p> <p>当初予定していた定員を越える参加申し込みがあり、事業のニーズの高さが窺えた。</p> <p>（2）事業の効率性</p> <p>〈令和2年度〉</p> <p>看護管理者を対象とした研修を行うことで直接の雇用対策に働きかける。</p> <p>〈令和3年度〉</p> <p>看護管理者が看護補助者をどのように活用するかを学ぶことで、看護補助者の雇用を促進し、看護職員の労働環境の整備を図る。</p>
その他	

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 22 (医療分)】 過疎地域等医師研修事業	【総事業費】 9,414 千円 【R3 事業費】 4,898 千円
事業の対象となる区域	全県域	
事業の実施主体	福島県 (公立大学法人福島県立医科大学)	
事業の期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>従来からの医師の絶対数の不足及び診療科の偏在に加え、東日本大震災及び原子力災害の影響による医師の県外へ流出などにより、過疎地域はもとより県内各地域における医療の確保が厳しいことから、医師等医療従事者の県内定着の促進と不足する診療科を支援する人材の育成により、本県の医療体制の充実強化を図る。</p> <p>アウトカム指標： ・医療施設従事医師数 (人口10万対) H28:195.7人→H30:204.9人→R2:204.9人以上 (R2の公表はR3.12を予定)</p>	
事業の内容 (当初計画)	過疎地域等の医療を担う人材の育成と地域医療を担う医師の幅広い診察能力 (プライマリ・ケア能力) 向上を図る研修会等を委託する。	
アウトプット指標 (当初の目標値)	・研修会、講習会等の開催 12回、参加者数 350名	
アウトプット指標 (達成値)	<令和2年度> ・研修会、講習会等の開催 6回、参加者数 258名 <令和3年度> ・研修会、講習会等の開催 8回、参加者数 348名	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： <令和2年度> ・医療施設従事医師数 (人口10万対) H28:195.7人→H30:204.9人 (R2の公表はR3.12を予定) R2未公表のため観察できなかった。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催を一部中止する中でも、オンラインを活用し、イベント一回あたりの参加者数を29人から43人に増加する等、医療を担う人材の育成に寄与することができた。	

	<p>〈令和3年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療施設従事医師数（人口10万対） H28:195.7人→H30:204.9人→R2:205.7人→R3:調査なし 観察できなかった→ （代替指標） 県内病院に勤務する常勤医師数(12/1時点) R2:2,232人からR3:2,240人に増加した。 <p>（1）事業の有効性</p> <p>〈令和2年度〉</p> <p>研修会、講習会等の開催回数は目標の5割、参加者数は7割程度の達成率だった</p> <p>主な原因は新型コロナウイルスの影響により病院見学会や交流研修会等の対面でのイベントが中止となったことが考えられる。</p> <p>一方で、オンラインを活用することにより、イベント1回あたりの参加者数が増加したことから、オンラインイベントの充実を図ることにより、医療を担う人材のさらなる育成に期待できる。</p> <p>〈令和3年度〉</p> <p>研修会、講習会等の開催回数は目標の2/3だったが、参加者数はほぼ達成することができた。</p> <p>新型コロナウイルスの影響が無ければ開催回数は目標を達成し、参加者数は目標を上回ることができたと考えられる。</p> <p>オンラインイベントは場所を問わず気軽に参加できるというメリットもあることから、対面形式とオンライン形式のそれぞれの利点を考慮しながら開催回数の増加を目指し、医療人材のさらなる育成を図る。</p> <p>（2）事業の効率性</p> <p>〈令和2、3年度〉</p> <p>公立大学法人福島県立医科大学と連携し、当該事業について県内外の医学生に対して効果的な周知を図るとともに、臨床研修基幹病院間のネットワーク機能を効率的に活用した。</p>
その他	

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 25 (医療分)】 作業療法士実習指導者養成講習会	【総事業費】 2,500 千円 【R3 事業費】 789 千円
事業の対象となる区域	全県域	
事業の実施主体	福島県作業療法士会	
事業の期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>高度医療や地域包括ケアシステム等に対応できる作業療法士の養成及び適切な作業療法サービスの安定供給（新卒作業療法士の県内就職）に向けた質の高い臨床実習指導者の養成を行う必要がある。</p> <p>アウトカム指標：福島県内医療機関の作業療法士数 （県作業療法士会より聴取） R1：971名→R2：971名以上</p>	
事業の内容（当初計画）	作業療法士養成所の実習施設で実習指導者の任にある者又は将来実習指導者となる予定の者を対象に、講習会を実施する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導者講習会受講者数 R1：（新規事業につき無し） → R2：220名（会津／浜通り60名、中通り100名） 	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導者講習会受講者数 R1：（新規事業につき無し） → R2：92名（オンライン会議システムによる開催 1回目50名 2回目42名） → R3：96名（オンライン会議システムによる開催 1回目49名 2回目47名） 	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島県内医療機関の作業療法士数 （県作業療法士会より聴取） R1：971名 → R2：974名 観察できた → 3名増加している。R3年4月はさらに新会員が70名程度増える見込み。 <p><令和3年度></p> <ul style="list-style-type: none"> R1：971名 → R2：974名 → R3：1,046名（会員数） 観察できた → 72名増加している。R4年4月はさらに新会員70名程度増える見込み。 	

	<p>(1) 事業の有効性</p> <p><令和2年度></p> <p>R2年度から新規で実施したが、講習会の実施により、質の高い臨床実習指導者の養成を行うことができた。今後も本事業を通じて講習会開催を支援し、継続して臨床実習指導者を養成することで、県内の臨床実習指導者と学生の質を高め、福島県の作業療法士の振興を図るとともに、高度な臨床実習を取得した作業療法士を県内に定着させる。</p> <p><令和3年度></p> <p>R3年度も継続して講習会の実施をして、質の高い臨床実習指導者の養成を行うことができた。今後も本事業を通じて講習会開催を支援し、継続して臨床実習指導者を養成することで、県内の臨床実習指導者と学生の質を高め、福島県の作業療法士の振興を図るとともに、高度な臨床実習を取得した作業療法士を県内に定着させる。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p><令和2年度></p> <p>補助事業を行うことにより、実習内容を充実させることが可能となる。</p> <p><令和3年度></p> <p>補助事業を行うことにより、実習内容を充実させることが可能となる。</p>
その他	